



# 平成17年度 京都大学防災研究所研究発表講演会 プログラム

開催日：平成18年2月21日（火）～ 22日（水）

場 所：京都テルサ 京都市南区東九条下殿田町70番地  
J R京都駅から南へ徒歩10分

## 平成18年2月21日（火）

特別講演 9：30 - 13：50 A会場〔第1会議室〕(3階)

災害調査報告 13：50 - 14：50 A会場〔第1会議室〕(3階)

一般講演 15：00 - 18：15

A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
〔第1会議室〕	〔第1・2セミナー室〕	〔第3セミナー室〕	〔中会議室〕	〔視聴覚研修室〕
地震・火山 ( )	21世紀COE ( )	地盤 ( )	大気・水 ( )	総合防災 ( )

## 平成18年2月22日（水）

一般講演 9：00 - 12：00（午前）

A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
〔第1会議室〕	〔第1・2セミナー室〕	〔第3セミナー室〕	〔中会議室〕	〔視聴覚研修室〕
地震・火山 ( )	21世紀COE ( )	地盤 ( )	大気・水 ( )	総合防災 ( )

一般講演 14：00 - 17：30（午後）

A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
〔第1会議室〕	〔第1・2セミナー室〕	〔第3セミナー室〕	〔中会議室〕	〔視聴覚研修室〕
地震・火山 ( )	地震・火山 ( )	地盤 ( )	大気・水 ( )	大気・水 ( )

ポスターセッション 9：00 - 17：00 A・B・C会議室（3階）

ポスターセッション発表は 11：30 - 14：00

# 京都テルサ（A会場）

平成18年2月21日（火）

9：30 開会の辞 所長 河田 恵昭

特別講演 9：40 - 13：50

9：40 耐震工学に果たす大型構造実験の役割 その可能性と限界  
Roles of Large Scale Structural Testing for Development of Earthquake Engineering  
- Potential and Limitations

教授 中島 正愛

10：30 地震予知研究の今昔 経験から科学へ  
Earthquake Prediction Research： Past, Present and Future

日本地震学会会長 大竹 政和

11：20 Fundamental Hydrological Modeling Related to Natural Disasters

ワシントン大学教授 Stephen J. Burges

12：10 （休憩）

13：00 ハリケーン「カトリーナ」による広域災害に対する社会対応  
Societal Responses following Hurricane Katrina

教授 林 春男

災害調査報告 13：50 - 14：50

13：50 2005年台風14号による九州の土砂災害  
Landslide Hazards Induced by Typhoon 14 in 2005.

教授 千木良雅弘

14：25 2005年福岡県西方沖地震について  
On the 2005 West-off Fukuoka Prefecture Earthquake

助教授 飯尾 能久・助教授 田村 修次

# 一 般 講 演

## 地震・火山( ) A会場〔第1会議室〕

- 15:00 A01. 不均質かつ異方性媒質における地震波動モデリングのための3次元差分法  
竹中博士・中村武史・西上欽也
- 15:15 A02. 大規模堆積盆地における東南海・南海地震の強震動予測  
川辺秀憲・釜江克宏
- 15:30 A03. 地震研究の実験の場として紀伊半島西部をどう診るか  
松波孝治・中村正夫・郷 隆之
- 15:45 A04. 広帯域強震記録解析に基づく2005年宮城県沖の地震の震源モデル  
鈴木 亘・浅野公之・岩田知孝
- 16:00 A05. 2005年福岡県西方沖の地震の震源モデルと震源域強震動  
浅野公之・鈴木 亘・岩田知孝
- 16:15 (休 憩)
- 16:30 A06. 2004年新潟中越地震の震源モデルと強震動シミュレーション  
岩田知孝・浅野公之・山田伸之・山中浩明・福元俊一
- 16:45 A07. 2004年新潟県中越地震の震源域における不均質構造  
西上欽也
- 17:00 A08. 白山火山付近の顕著な群発地震活動  
和田博夫・伊藤 潔・大見士朗・平野憲雄  
森下可奈子・平松良浩・中山和正
- 17:15 A09. Relocations and Velocity Structure for Aftershocks of the 2000 W. Tottori Earthquake,  
Using Waveform Cross-correlations  
Bogdan Eneascu・Jim Mori
- 17:30 A10. SSA法による深部低周波イベント震源域のイメージング  
大見士朗・Honn Kao

平成18年2月21日(火)

## 一 般 講 演

21世紀COE ( )

B会場〔第1・2セミナー室〕

- 15:00 B01. 自治体の地震防災に貢献する地震情報とその提供手法に関する研究(第3報)  
渡辺邦彦・橋本 学・野口竜也・平野憲雄
- 15:15 B02. リスク, 曖昧性が地震保険購入行動に及ぼす影響の定量分析  
藤見俊夫・多々納裕一
- 15:30 B03. 木造住宅の耐震性能を考慮した地震被害予測に関する研究  
森井雄史・林 康裕・鈴木祥之
- 15:45 B04. 鉄筋コンクリート造ピロティ建物の地震応答と崩壊確率  
長江拓也・吹田啓一郎・中島正愛
- 16:00 B06. 宇宙測地技術による時定数の短い地殻変動検出手法について  
佐藤一敏・橋本 学
- 16:15 (休 憩)
- 16:30 B07. 火山噴火ポテンシャルの評価について  
石原和弘
- 16:45 B08. 熱水流動を考慮した火山体磁化構造時間変化モデル  
大久保綾子・神田 径・石原和弘
- 17:00 B09. 火山噴火映像から抽出した圧力波の特徴について  
横尾亮彦・石原和弘
- 17:15 B10. 地下流水音分布による斜面崩壊ハザードマップの作成  
多田泰之・藤田正治・堤 大三・小山 敢  
河合隆行・奥村武信・本田尚正
- 17:30 B11. 徳島県木沢村の再活動地すべりの変動特性について  
王 功輝・末峯 章・古谷 元・松浦純生・佐々恭二
- 17:45 B12. イタリア国ストロンボリ火山における火山活動-地すべり  
津波発生連鎖メカニズム  
佐々恭二・汪 発武・Daniela Boldini・福岡 浩・王 功輝

平成18年2月21日(火)

## 一 般 講 演

地 盤 ( )

C会場〔第3セミナー室〕

- 15 : 00 C 01. 高松塚古墳墳丘地盤の現状と保存に向けた取り組みについて  
三村 衛・石崎武志
- 15 : 15 C 02. 新潟県中越地震による地盤被害 地形と地質の影響  
北田奈緒子・伊藤浩子・井上直人・三村 衛・大塚 悟
- 15 : 30 C 03. 遠心載荷実験に基づく基礎根入れ部に作用する土圧と摩擦力  
田村修次・今吉 毅
- 15 : 45 C 04. 飽和砂地盤上の盛土の動的変形挙動  
飛田哲男・井合 進・上田恭平
- 16 : 00 C 05. Study on the Undrained Shear Behaviour of Silts in the Ring Shear Tests  
Jozef Jurko・佐々恭二・福岡 浩
- 16 : 15 (休 憩)
- 16 : 30 C 06. 非排水せん断状態におけるせん断強度の速度効果の研究  
斉藤龍太・福岡 浩・佐々恭二
- 16 : 45 C 07. Influence of Pore Water Chemistry on Undrained Cyclic Behavior of Clayey Soils  
Ivan Gratchev・Kyoji Sassa・Hiroshi Fukuoka
- 17 : 00 C 08. 廃棄物埋立護岸としてのH-H継手を施した連結鋼管矢板について  
稲積真哉・木村 亮・西山嘉一・嘉門雅史
- 17 : 15 C 09. 地盤-杭の相互作用に関する水平断面内挙動  
井合 進・飛田哲男・M.Donahue・中道正人・金子英久
- 17 : 30 C 10. Earthquake-induced Displacements of Anchored Gravity Retaining Walls  
Aurelian C. Trandafir・Toshitaka Kamai・Roy C. Sidle・Mihail Popescu
- 17 : 45 C 34. 結晶片岩地すべりの土圧観測結果について  
末峯 章

## 一 般 講 演

大気・水( )  
D会場〔中会議室〕

- 15:00 D01. 化学物質の魚類への影響を考慮した流域環境評価モデルの構築に関する研究  
小尻利治・和佐守紘・川口智哉・友杉邦雄
- 15:15 D02. 河川の土砂堆積様式に基づく底生魚類の生息場評価  
石田裕子・竹門康弘・池淵周一
- 15:30 D03. ダム貯水池取水口の切り替えに伴うプランクトン・カレンダールの乱れ  
牧野育代・寶 馨・立川康人
- 15:45 D04. 山地小集水域における森林伐採および土石流発生の履歴と溪流生態系の関係  
小林草平・五味高志・Roy C. Sidle
- 16:00 D05. 河川下流域における懸濁態有機物の流程変化と砂州環境の関係  
竹門康弘・山本佳奈・池淵周一
- 16:15 (休 憩)
- 16:30 D06. 水資源の社会リスクとコンフリクト  
萩原良巳・坂本麻衣子
- 16:45 D07. コンフリクトマネジメントと均衡状態に関する考察  
坂本麻衣子・萩原良巳
- 17:00 D08. バングラデシュにおける飲料水ヒ素汚染災害の軽減に関する研究  
萩原良巳・畑山満則・坂本麻衣子・福島陽介
- 17:15 D09. 深泥池における水質分布特性  
嶋村鉄也・伊藤雅之・大手信人・竹門康弘
- 17:30 D10. 新疆乾燥地域の河川水質と水資源の保全  
Batuer Abudoureyimu・城戸由能・川久保愛太・中北英一

# 一 般 講 演

## 総合防災( ) E会場〔視聴覚研修室〕

- 15:00 E 01. 第 期科学技術基本計画と今後の防災研究  
河田恵昭
- 15:15 E 02. ステークホルダー参加型復興計画策定手法の構築  
小千谷市復興計画策定での試み  
牧 紀男・林 春男・田村圭子・立木茂雄
- 15:30 E 03. Participatory Approach for Post-Earthquake Reconstruction in the Villages of Kachchh, India  
Subhajyoti Samaddar ・ Norio Okada
- 15:45 E 04. Methodology Approach to Characterization of the Attitudes and Behaviors toward Furniture Nailing for Earthquake Preparedness.  
Robert Pawel Bajek ・ Norio Okada
- 16:00 E 05. 近隣の災害目撃経験が個人の地震に対する備えに及ぼす影響  
松田曜子・岡田憲夫
- 16:15 (休 憩)
- 16:30 E 06. Conceptual Model of Shelter Planning Based on the Vitae System  
Wei Xu ・ Norio Okada ・ Chunyang He ・ Michinori Hatayama
- 16:45 E 07. 京町家の大型震動台実験  
鈴木祥之・斎藤幸雄・奥田辰雄・小笠原昌敏・須田 達
- 17:00 E 08. 既存京町家の耐震性能と耐震補強  
須田 達・鈴木祥之・岡村雅克・鎌田輝男・小笠原昌敏
- 17:15 E 09. 新しい京町家の設計思想と耐震性能  
小笠原昌敏・鈴木祥之・奥田辰雄・須田 達
- 17:30 E 10. 歴史都市の地震火災対策と延焼シミュレーション  
田中哮義・樋本圭佑
- 17:45 E 11. 幼児向け防災教育ツールの開発  
矢守克也・吉川肇子

# 一 般 講 演

## 地震・火山( ) A会場〔第1会議室〕

- 9:00 A11. 近畿北部の地震活動 水の起源と地震予知  
梅田康弘・伊藤 潔・松原 誠
- 9:15 A12. 兵庫県南部地震に先行した広域地殻歪変化  
森井 互・尾上謙介・中村佳重郎・大谷文夫  
細 善信・和田安男
- 9:30 A13. GPSデータで見る近畿地方の歪速度変化  
大谷文夫
- 9:45 A14. 東海スロースリップを原因とする中部及び近畿地方の歪速度と地震活動の変化  
小林知勝・橋本 学
- 10:00 A15. 大阪府高槻市及び周辺地域の3次元重力基盤構造  
有馬・高槻構造線との関係について  
中村佳重郎・西村敬一・駒澤正夫・赤松純平
- 10:15 (休 憩)
- 10:30 A16. 西南日本合同地震観測データを用いたレシーバ関数解析  
上野友岳・澁谷拓郎・伊藤 潔
- 10:45 A17. 四国東部の地震活動( 97.10 - 05.12 )  
規模別頻度分布と活動レベル  
許斐 直・松村一男・近藤和男
- 11:00 A18. 高知県佐賀町における海水・淡水境界面の観測  
浅田照行・梅田康弘・辰己賢一・重富國宏  
木村昌三・川谷和夫・大村 誠
- 11:15 A19. 過去の南海地震によると思われる地震の痕跡  
寒川 旭
- 11:30 A20. ボアホール精密温度測定によって検出した車籠埔断層近傍の温度異常  
伊藤久男・加納靖之・Jim Mori・藤尾 良・柳谷 俊  
中尾節郎・松林 修・西村和浩・當真正智
- 11:45 A21. 東南アジアにおけるスマトラ地震の余効変動  
橋本 学・橋爪道郎・Nithiwatthn Choosakul  
竹本修三・瀧口博士・福田洋一・藤森邦夫

## 一 般 講 演

21世紀COE ( )

B会場〔第1・2セミナー室〕

- 9 : 00 B 13. Coastal Morphodynamics and Sedimentary Environments-New Horizons  
Hideo Sekiguchi・Ryoukei Azuma
- 9 : 15 B 14. 中国三峡ダム貯水池水位変動による地すべり及び斜面変動  
汪 発武・王 功輝・佐々恭二・新井場公德  
竹内篤雄・張 業明・霍 志涛・彭 軒明
- 9 : 30 B 15. Study of a Methodology on Making Community-based Flood Hazard Maps  
小林健一郎・寶 馨
- 9 : 45 B 16. Performance of Levee System at Flood Stage  
Ryoukei Azuma・Hideo Sekiguchi
- 10 : 00 B 17. Beach Groundwater Dynamics - Field Observations and Analysis  
Kriyo Sambodho・Ryoukei Azuma・Hideo Sekiguchi
- 10 : 15 B 18. 山地・河川・海岸系における物質動態に関する研究(第3報)  
中川 一・関口秀雄・澤田豊明・林 泰一・石垣泰輔・山下隆男  
上野鉄男・芹澤重厚・武藤裕則・馬場康之
- 10 : 30 (休 憩)
- 10 : 45 B 19. The Lessons about Risk Communication Learned from the Case Studies of Typhoon Disasters  
Chao Zhang・Norio Okada・Muneta Yokomatsu  
Yoko Matsuda
- 11 : 00 B 20. Methodology of Urban Disaster Diagnosis for Enhancing Safety and Security of Urban Space and Infrastructure  
Norio Okada
- 11 : 15 B 21. 社会福祉の観点から見た高齢者における災害過程の解明  
田村圭子・林 春男
- 11 : 30 B 22. 印刷物・映像情報の電子ファイル化とWeb上で高速検索可能なシステムの構築(3)  
松浦秀起・辰己賢一・吉田義則・三浦 勉  
高山鐵朗・和田博夫・平野憲雄
- 11 : 45 B 23. 防災学のためのクロスメディア・データベースの構築(3)  
川方裕則・吉富 望・浦川 豪・Kelly Chan・辰己賢一・松浦秀起  
原 武士・井ノ口宗成・東田光裕・林 春男・河田恵昭

# 一 般 講 演

地 盤 ( )

C会場〔第3セミナー室〕

- 9 : 00 C 11. Bedload Yield in Forest Catchments with Different Histories of Mass Movement  
亀井理依子・Roy C. Sidle・今泉文寿・小林草平・五味高志
- 9 : 15 C 12. 地域住民参加による土のうによる未舗装道路改修法の開発  
木村 亮・福林良典・岩本洋介
- 9 : 30 C 13. Runoff and sediment transport from a mountain road  
Roy C. Sidle・Takashi Gomi・Sohei Kobayashi
- 9 : 45 C 14. Numerical simulation of cohesive sediment transport in estuary  
Fitri Riandini・山下隆男・高山知司
- 10 : 00 C 15. 凍結融解による土砂生産特性とそのモデル化に関する基礎的研究  
堤 大三・藤田正治・伊藤元洋・手島宏之  
澤田豊明・小杉賢一朗・水山高久
- 10 : 15 C 16. Hill Slope Erosion Modeling---A Case Study in China Loess Plateau Region  
Dayong Shen・Kaoru Takara・Yasuto Tachikawa  
Takahiro Sayama・Zhengping Jin
- 10 : 30 (休 憩)
- 10 : 45 C 17. 矢田断層地域の自然ガンマ線調査  
能美洋介・草地祐介・赤松純平・尾上謙介・西村敬一
- 11 : 00 C 18. 焼却灰埋立海面処分場における生化学的条件と重金属の動態に関する実験的研究  
嘉門雅史・ 勝見 武・乾 徹・大矢好洋
- 11 : 15 C 19. Migration of LNAPL under the Influence of Fluctuating Water Table in Subsurface  
Masashi Kamon・Yan Li・Giancarlo Flores・Toru Inui
- 11 : 30 C 20. 促進試験による廃コンクリート再生砕石からの六価クロム溶出特性の評価  
嘉門雅史・ 乾 徹・勝見 武・嶋田大士・田邊雅哉
- 11 : 45 C 21. 関東ローム台地の谷埋め盛土における地震動・間隙水圧応答  
釜井俊孝

## 一 般 講 演

大気・水( )  
D会場〔中会議室〕

- 9 : 00 D11. Porosity and Void Structure of Riverbed Materials  
Muhammad Sulaiman・Daizo Tsutsumi・Masaharu Fujita
- 9 : 15 D12. インドネシアにおける流域圏の環境と防災の諸問題  
山下隆男
- 9 : 30 D13. ITVカメラによる水制周辺部流れの観測  
藤田一郎・武藤裕則・馬場康之・椿 涼太・神田佳一・平井康介
- 9 : 45 D14. 楠葉復元ワンド群の流況特性について  
武藤裕則・綾 史郎・藤田一郎
- 10 : 00 D15. 階段式魚道型水路における不安定波動の発生に関する2,3の検討  
大八木美由起・ 細田 尚・音田慎一郎
- 10 : 15 D16. 都市水害時の小規模地下空間の浸水過程について  
米山 望・間畠真嗣・戸田圭一・山本大介
- 10 : 30 D17. 山地河川の水害と谷底平野の形態  
上野鉄男・石垣泰輔
- 10 : 45 (休 憩)
- 11 : 00 D18. 津波の波力特性に及ぼす海岸断面地形の影響  
安田誠宏・高山知司・山本博紀
- 11 : 15 D19. 高波浪時における海底地盤内の残留間隙水圧の数値解析  
高山知司・ 谷口昇太郎・安田誠宏・佐々真志・野田 巖
- 11 : 30 D20. 津波作用時における係留船舶の動揺特性  
雨森洋司・高山知司・林 秀和・津田宗男・大木泰憲
- 11 : 45 D21. Effect of large tidal variation on storm surge  
金 洙列・高山知司・安田誠宏

# 一 般 講 演

## 総合防災( ) E会場〔視聴覚研修室〕

- 9 : 00 E 12. 生命体システムとしてみた都市・地域と総合的な災害リスクマネジメント  
岡田憲夫
- 9 : 15 E 13. Comparison and Analysis of Extreme Flood Event Prediction by Hydrological Models  
Nawa Raj Pradhan・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- 9 : 30 E 14. 水災害危険度情報の提供による流域管理政策の定量的評価に関する研究  
市川 温・田崎邦明・沼間雄介・堀 智晴・椎葉充晴
- 9 : 45 E 15. Hurricane Katrina : Impacts on Oil and Chemical Infrastructure  
Ana Maria Cruz・Laura J. Steinberg・Hatice Sengul  
Joe Levin・Norio Okada
- 10 : 00 E 16. 自主防災会におけるリスクコミュニケーションの成立可能性に関するゲーム論的研究  
横松宗太
- 10 : 15 (休 憩)
- 10 : 30 E 17. 水害リスクコミュニケーションのための参加者個別ハザードマップ作成システムの開発  
畑山満則・多々納裕一・川熹健一・松本卓也
- 10 : 45 E 18. An Adaptive Evacuation Route Algorithm under Flood Disaster  
Yuling Liu・Michinori Hatayama・Norio Okada
- 11 : 00 E 19. The Process of Conflict Resolution : A Case Study of Ichinose Community Disaster Management Conflict, Tottori Prefecture, Japan  
Suman Ranjan Sensarma・Norio Okada
- 11 : 15 E 20. A Review on Chinese Insurance Market  
Wei-Bin Yu・Muneta Yokomatsu・Norio Okada
- 11 : 30 E 21. 地震による交通基盤損傷の経済被害評価の枠組み  
多々納裕一・土屋 哲

## 一 般 講 演

地震・火山( )

A会場〔第1会議室〕

- 14:00 A22. 2005年福岡県西方沖地震の破壊初期段階の特徴について  
川方裕則・山口慎司・安達俊仁・梅田康弘
- 14:15 A23. ボアホール内の水の移動と温度変化の関係を調べる現場実験  
○加納靖之・柳谷 俊・Jim Mori・中尾節郎  
三浦 勉・山崎友也・藤尾 良・當真正智
- 14:30 A24. 簡易三成分ひずみ計  
尾上謙介・松尾成光・細 善信・高橋輝雄・石井 紘
- 14:45 A25. 北陸観測所坑道内における地電位差観測  
渡辺邦彦・岡本拓夫
- 15:00 A26. Source Process of Quasi-monotonic Events at Papandayan Volcano  
Hetty Triastuty・Masato Iguchi・Takeshi Tameguri
- 15:15 A27. A-type Earthquakes at Sakurajima during Inflation Stage of the Aira Caldera  
Sri Hidayati・Kazuhiro Ishihara・Masato Iguchi
- 15:30 (休 憩)
- 15:45 A28. 諏訪之瀬島火山における人工地震探査  
井口正人・八木原寛・為栗 健・清水 洋・平林順一  
宮町宏樹・鈴木敦生・筒井智樹・及川 純・森 健彦  
相沢広記・河野裕希・馬場龍太・大倉敬宏・吉川 慎  
齋藤武士・福嶋麻沙代・平野舟一郎
- 16:00 A29. 諏訪之瀬島火山における噴火地震の震源過程  
為栗 健・井口正人・八木原寛
- 16:15 A30. 口永良部島火山の比抵抗構造  
神田 径・宇津木充・田中良和・長谷中利昭  
重野伸昭・岡田靖章・山口慎司
- 16:30 A31. 阿蘇火山における大規模噴火をもたらしたマグマ溜まりの形成過程  
井上和久・金子克哉・小屋口剛博・芳川雅子  
柴田知之・古川邦之・鎌田浩毅
- 16:45 A32. 爆発的噴火と火山ガス放出量  
平林順一・及川光弘・森 健彦・鬼澤真也・井口正人

# 一 般 講 演

地震・火山( )

B会場〔第1・2セミナー室〕

- 14:00 B24. 超大変形領域における実大3層鋼構造骨組の崩壊挙動  
松宮智央・中島正愛・吹田啓一郎・劉 大偉
- 14:15 B25. 浅い埋込み柱脚の復元力特性と補強効果の検証  
中島正愛・吹田啓一郎・山本遼太・植村具民・倉田真宏
- 14:30 B26. 高度成長期に建設された超高層建物の長周期応答特性と制震ダンパー補強  
吹田啓一郎・五藤友規・北村有希子・岩田知孝・釜江克宏
- 14:45 B27. 超高層免震建物の地震時ロバスト性  
竹脇 出
- 15:00 B28. 各種パッシブ制震装置を複合配置した免震構造建物の地震応答性状とその減衰効果  
白山敦子・鈴木祥之・山下忠道・井上 豊
- 15:15 B29. Application of a Semi-Active Control Method for Seismically Isolated Structures  
Hirokazu Iemura・Akira Igarashi・Afshin Kalantari
- 15:30 (休 憩)
- 15:45 B30. On-line Hybrid Test Using Peer to Peer (P2P) System  
○Tao Wang・Peng Pan・Nobuya Yoshitake・Taehyung Lee  
Masayoshi Nakashima
- 16:00 B31. Strut-and-Tie モデルによる耐震壁の耐力の検討  
王 激揚・田中仁史
- 16:15 B32. 多層壁フレーム建築物における高次モード応答せん断力の評価  
倉本 洋
- 16:30 B33. 偏心を有する柔床構造物の耐震信頼度解析  
向坊恭介・鈴木祥之
- 16:45 B34. 木造構造物の損傷検出クライテリアの実験的検証  
具 典淑・林 康裕・鈴木祥之
- 17:00 B35. 墓石の耐震補強に関する実験的研究  
清野純史・三輪 滋・古川愛子・樅山貴昭

# 一 般 講 演

## 地 盤 ( )

### C会場〔第3セミナー室〕

- 14 : 00 C 22. 切取り斜面崩壊過程の復元  
諏訪 浩・水野高志・石井孝行
- 14 : 15 C 23. 宮川村および竹田市で発生した斜面崩壊の特性とそのシミュレーション  
藤田正治・堤 大三・宮崎俊彦・林雄二郎
- 14 : 30 C 24. 花崗岩類の風化様式とその表層崩壊への影響  
1972年西三河豪雨災害を例として  
戸邊勇人・千木良雅弘
- 14 : 45 C 25. 詳細地形データを用いた泥火山の崩壊特性解析  
土志田正二・千木良雅弘
- 15 : 00 C 26. 2005年パキスタン北部地震に関する被害調査  
東畑郁生・清田 隆
- 15 : 15 C 27. ペルー・マチュピチュ遺跡地区の地すべりに関する国際合同調査  
福岡 浩・佐々恭二・王 功輝・汪 發武  
P. Canuti・C. Margottini・N. Casagli
- 15 : 30 (休 憩)
- 15 : 45 C 28. 2004年5月白山別当谷地すべり 土石流災害の発生・運動機構  
汪 發武・佐々恭二
- 16 : 00 C 29. 中越地震で被災した斜面のその後の変状について  
丸井英明・渡部直喜
- 16 : 15 C 30. 四国の和泉層群で発生した豪雨時土砂移動現象の調査  
古谷 元・末峯 章・日浦啓全
- 16 : 30 C 31. 数値地図を用いた豪雨による崩壊災害発生への検討  
齊藤隆志
- 16 : 45 C 32. 大規模崩壊発生予測の可能性について 地質と地形から  
千木良雅弘
- 17 : 00 C 33. 火山岩地域の深層崩壊発生場予測法の提案  
鹿児島県出水市矢筈岳山体を例にして  
地頭蘭隆・下川悦郎・寺本行芳

## 一 般 講 演

大気・水( )  
D会場〔中会議室〕

- 14:00 D22. 単層換気ダブルスキンファサードに作用する風力について  
河井宏允
- 14:15 D23. 台風0418号通過時の巖島神社周辺における地形性の強風を再現する試み  
丸山 敬・石川裕彦・内田孝紀・河井宏允・大屋裕二
- 14:30 D24. 中国実用静止気象衛星風雲2C号データによるアジアの気象災害監視  
石川裕彦・奥勇一郎・堀口光章
- 14:45 D25. Storm Surge Simulation of Hurricane Katrina with Modified Bogussing Scheme  
HanSoo Lee・Takao Yamashita
- 15:00 D26. メソモデルを用いたインドシナ域の実験的数値天気予報  
Palikone Thalongsengchanh・Tri W. Hadi  
庭野将徳・大塚成徳・余田成男
- 15:15 D27. ミリ波ドップラーレーダーで観測された霧のマルチスケール構造  
植松明久・山本真之・橋口浩之・深尾昌一郎
- 15:30 D28. インドシナ半島における降水季節内変動の研究  
横井 覚・里村雄彦・松本 淳
- 15:45 (休憩)
- 16:00 D29. 都市とその周辺における気候変動( )  
京都市と周辺における気温観測値の比較・検討  
岩嶋樹也・木田秀次
- 16:15 D30. 北半球中高緯度における炭素フラックスの季節変動の大気輸送モデルを用いた推定  
井口敬雄・木田秀次
- 16:30 D31. 熱帯域における季節内振動の予測可能性  
久保田拓志・向川 均・前田修平・佐藤 均・岩嶋樹也
- 16:45 D32. 世界分布でみた空気塊の移動の空間・時間スケール  
風岡 亮・木田秀次
- 17:00 D33. 進行波上の気流のスカラー輸送  
木原直人・花崎秀史・植田洋匡
- 17:15 D34. 夏季の中高緯度における季節内長周期変動とオホーツク海高気圧  
堀川英隆・向川 均

# 一 般 講 演

## 大気・水( ) E会場〔視聴覚研修室〕

- 14:00 E 22. 地球温暖化の経済評価のためのリカーシブモデルの開発  
安藤朝夫・小尻利治・菊池祥子・中嶋一憲
- 14:15 E 23. 地球統計学的な疑似生成観測値の利用によるパラメータの空間分布同定  
浜口俊雄・小尻利治・中北英一
- 14:30 E 24. Conjunctive Simulation of Surface and Subsurface Flow within Water Budget  
Sina Nasouhi・Toshio Hamaguchi・Toshiharu Kojiri
- 14:45 E 25. 地球温暖化による流域水資源・生態への影響評価  
小尻利治・浜口俊雄・大出真理子
- 15:00 E 26. 分布型流出モデルを用いた洪水リスクに基づく避難意思決定支援システム  
Paul James Smith・関井勝善・小尻利治
- 15:15 (休憩)
- 15:30 E 27. 灌漑要求水量(IWR)・降水量・NDVIの年々変動に関する相関分析  
萬和明・田中賢治・池淵周一
- 15:45 E 28. 現業気象データと陸面過程モデルによる日本の地表面状態量の推定  
相馬一義・田中賢治・池淵周一
- 16:00 E 29. 気候変動がセイハン流域の水収支に及ぼす影響の予測  
田中賢治・藤原洋一・小尻利治・渡辺紹裕・池淵周一
- 16:15 E 30. 気象庁数値予報データ(GPV)の統計的検証  
山田賢治・池淵周一・田中賢治・相馬一義
- 16:30 E 31. 最新型二偏波ドップラーレーダーを用いた降水量推定精度の向上  
中北英一・竹畑栄伸・中川勝広
- 16:45 E 32. 地球温暖化時の時空間高解像度降水分布の推定  
野沢 徹・小尻利治・小林 孝

## ポスターセッション

A・B・C会議室 9:00 - 17:00

発表 11:30 - 14:00

- P 01. 広域分布型洪水流出モデルを用いた実時間流出予測システムの開発と淀川流域への適用  
立川康人・佐山敬洋・可児良昭・寶 馨・松浦秀起・山崎友也
- P 02. Flood Discharge Simulation and Rainfall-runoff Analysis at Kamishiiba Catchment for Typhoon 14, 2005  
Lee Giha・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P 03. Establishment of IDF Curves for Precipitation in the Monsoon Area of Vietnam  
Nhat Le Minh・Kaoru Takara・Yasuto Tachikawa
- P 04. Land Use Change Effects on Hydrological Response in Cisangkuy Basin, Indonesia  
Apip・Takahiro Sayama・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P 05. リモートセンシングデータを用いた樹冠疎密度分布の推定  
児島利治・篠田成郎・守内友香
- P 06. 丹波山地における微小地震のメカニズム解決定と応力場の推定  
小笠原知彦・片尾 浩・飯尾能久
- P 07. 桜島火山の土石流発生と降雨及び火山活動との関係  
福島麻沙代・石原和弘
- P 08. フィールド作業における安全衛生  
技術室衛生管理者一同(三浦 勉・辰己賢一・富阪和秀・西村和浩・近藤和男)  
中尾節郎・平野憲雄
- P 09. 北陸観測所トンネルへの伸縮計セット  
○竹内文朗・森井 互・大谷文夫・尾上謙介・細 善信  
和田安男・中村佳重郎・園田保美・寺石眞弘  
西上欽也・平野憲雄・岡本拓夫
- P 10. レシーバ関数解析による紀伊半島下のフィリピン海プレートのイメージング  
澁谷拓郎・伊藤 潔・大見士朗・西村和浩・中尾節郎・山崎友也・平野憲雄
- P 11. 鹿児島県北西部地震の動力学震源インバージョン解析  
後藤浩之・宮腰 研・澤田純男
- P 12. 大大特：近畿地方縦断自然地震観測  
西村和浩・中尾節郎・三浦 勉・辰己賢一・平野憲雄・山崎友也・加茂正人・富阪和秀  
吉田義則・松浦秀起・澁谷拓郎・伊藤 潔・片尾 浩・廣瀬一聖・森下可奈子
- P 13. 2004年口永良部島火山人工地震探査データを用いた地震波減衰構造解析  
山本圭吾・口永良部島火山人工地震探査グループ

平成18年2月22日(水)

- P 14. 浮屋根石油タンクのスロッシング防止ダンパーの開発  
澤田純男・米山 望・高島大輔・三浦正博
- P 15. 断層破碎帯におけるハイドロフォンを使った高周波AEイベント観測  
當眞正智・中谷正生・伊藤久男・柳谷 俊
- P 16. 屯鶴峯観測所における地殻変動観測 1970-2005  
藤田安良・尾上謙介・橋本 学
- P 17. 阿蘇火山研究センターにおける絶対および連続地磁気観測  
井上(北田)直人・宇津木充・田中良和
- P 18. 御嶽山周辺の群発地震発生域における自然電位分布(2)  
吉村令慧・山崎健一・岡田靖章・大志万直人
- P 19. 地動速度に対する間隙水圧応答による表層飽和地盤の変形 破壊過程の考察  
郷 隆之・松波孝治・中村正夫
- P 20. 福井県奥越地域における最近の地震活動  
岡本拓夫・ 平野憲雄・竹内文朗・西上欽也・渡辺邦彦
- P 21. 地殻構造と活断層,地震活動の関係について  
廣瀬一聖・伊藤 潔
- P 22. 古地磁気からみた桜島火山M4溶岩の噴出時期について  
味喜大介・宇都浩三・石原和弘
- P 23. 赤外映像で捉えた火山噴煙の時間変動  
鍵山恒臣
- P 24. 携帯情報機器を用いた地震データ送信システムの開発  
辰己賢一・三浦 勉・吉田義則・西村和浩・松浦秀起・平野憲雄  
山崎友也・富阪和秀・加茂正人・中尾節郎・渋谷拓郎・伊藤 潔
- P 25. RC耐震壁の振動台実験に用いる動的試験デバイスの開発とその特性試験  
河野 進・田中仁史
- P 26. 西南日本における大学合同地震観測2002-2004  
片尾 浩・大見士朗・中尾愛子・中尾節郎・渋谷拓郎・近藤和男  
伊藤 潔・西南日本大学合同地震観測グループ
- P 27. Hypocenter Distribution of Volcano-tectonic Earthquakes at Guntur Volcano  
Nurlia Sadikin・Masato Iguchi
- P 28. 跡津川断層に沿った広帯域MT観測  
大志万直人・吉村令慧・藤 浩明・山本宜峰・本林 勉  
和田安男・畑 真紀・兼崎弘憲・上嶋 誠
- P 29. 西南日本の地殻内における実体波・表面波を用いた速度構造推定の試み  
土井一生・西上欽也
- P 30. 日向難地殻活動総合観測線における地殻変動連続観測  
寺石眞弘・大谷文夫・園田保美・大志万直人

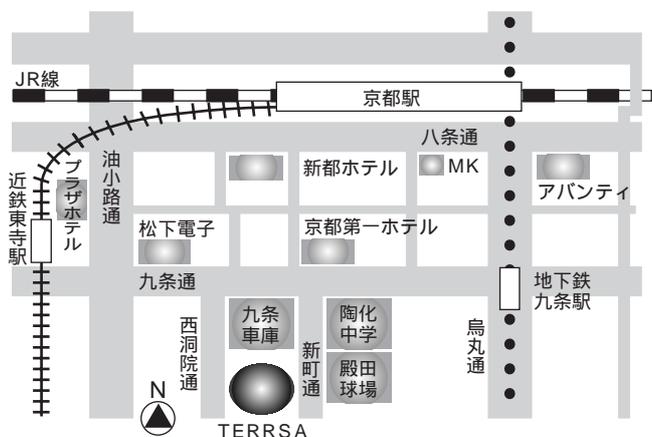
平成18年2月22日(水)

- P 31. 地震発生層の深さ分布と活断層のセグメンテーションとの関係  
伊藤 潔
- P 32. 新潟県中越地震における地盤災害 平成17年度調査  
大塚 悟・三村 衛・北田奈緒子・伊藤浩子・井上直人・吉村 貢
- P 33. 結晶片岩地すべり素因としての泥質片岩風化帯形成過程とその形成メカニズム  
山崎新太郎・千木良雅弘
- P 34. 福岡市内の地下空間の浸水解析  
戸田圭一・岩村真理・間島真嗣・米山 望
- P 35. A New Strategy for Hydrological Model Comparison : Pseudo Validation Process  
江 申・立川康人・實 馨
- P 36. 流出モデルの基準面積に関する研究  
佐山敬洋・立川康人・實 馨
- P 37. リアルタイム高度水防災情報提供システムにおけるネットワーク構築  
松浦秀起・山崎友也・佐山敬洋・立川康人
- P 38. Poisson Rectangular Pulse Rainfall Modeling for Design Flood Determination  
Carlo Arturo Mondonedo・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P 39. Flood Prediction System with Weather Radar and Distribute Hydrologic Model -Case Study for Typhoon Rusa, 2002  
Sunmin Kim・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P 40. 実物大階段およびドア模型を用いた地下空間からの避難に関する水理実験(2)  
馬場康之・石垣泰輔・戸田圭一・中川 一・吉田義則・多河英雄
- P 41. 山地河川の浮遊砂に関する研究  
里深好文・水山高久・澤田豊明・木下篤彦・未安正英
- P 42. 都市域の大気汚染由来汚濁物質の堆積と流出  
城戸由能・齊藤慶司・中北英一
- P 43. 高原川流域における土砂生産マップの構築  
伊藤元洋・澤田豊明・藤田正治・堤 大三・志田正雄
- P 44. 気象海象フィールドステーションにおける2005年度の観測研究  
芹澤重厚・林 泰一・山下隆男・内山 清・河内伸治
- P 45. 中島川の洪水氾濫解析に基づく長崎市街地の水害危険区域に関する検討  
川池健司・江藤慎也・丸山寛起・野口正人
- P 46. 都市近郊における大気境界層の観測  
堀口光章
- P 47. 海洋上清浄大気中の雲粒径に対する三宅島噴出ガスの影響  
滝口美絵・梶野瑞王・奥勇一郎・石川裕彦
- P 48. 人工衛星データを用いた海上気温の推定  
根田昌典・芹澤重厚

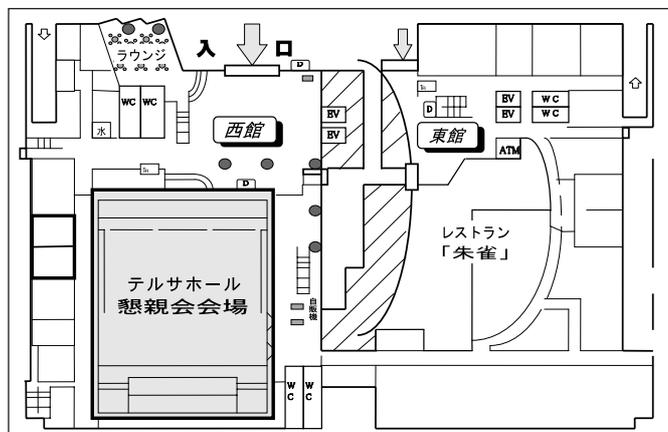
# 会場案内図



会場地図



京都テルサ 1階



交通のご案内

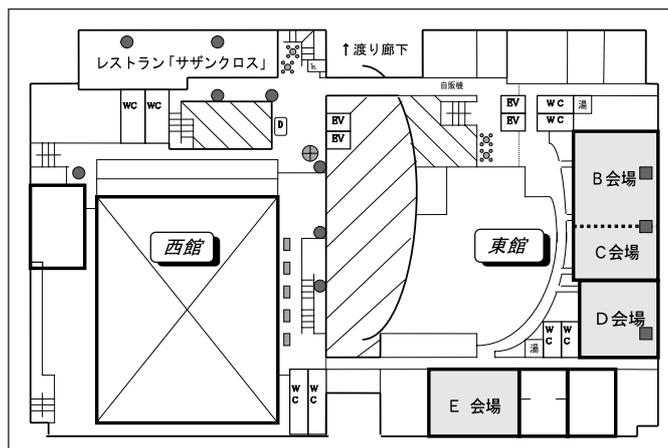
J R 京都駅 (八条口) より  
南へ徒歩約10分

近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分

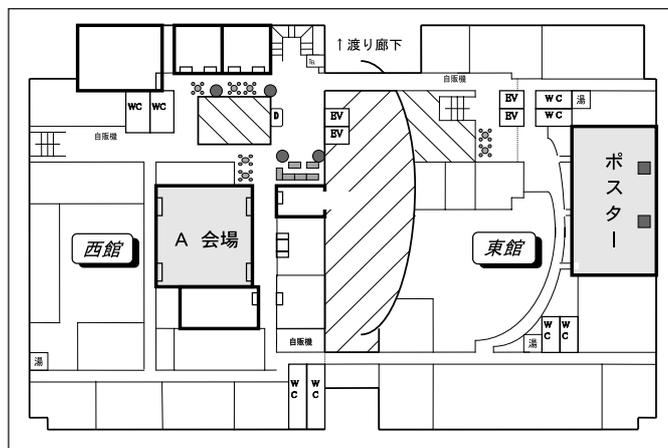
地下鉄九条駅 番出口より  
西へ徒歩約5分

市バス九条車庫南へすぐ

京都テルサ 2階



京都テルサ 3階



連絡先：京都大学防災研究所 0774 ( 38 ) 4005  
京都テルサ 075 ( 692 ) 3400